

伸びよう 伸ばそう 青少年



青少年育成稲敷市民会議の主な事業

3つの基本姿勢

- 1 子どもや青少年をしっかりと見つめる
- 2 大人が変われば子どもも変わる
- 3 さんかけ運動を推進する

1 子どもや青少年をしっかりと見つめる

市内の子どもや青少年の実態を把握し、私たち大人がやるべきことを見極め、活動することが大切です。

2 大人が変われば子どもも変わる

「子どもは、社会を映す鏡」そんな考えに立ってみると、私たち大人が、まず、しなければならないことがあります。それは、親や大人が自らの姿勢を正し、子どもの手本になるとともに、社会全体のモラルや地域の教育力を高めていくことではないでしょうか。身近なところから、できることから始めましょう。

3 さんかけ運動を推進する

さんかけ運動は、「青少年 気につけ 目をつけ 声かけよう」のキャッチフレーズで、子どもや青少年をいつも多くの大人が気につけ一声かけようという運動です。

いつも気につけ、目をつけることによって、子どもや青少年の日頃の行動を知るだけでなく、大人との絆づくりを期待しようというものです。



学校と合同であいさつ運動を実施



「のぼり旗」の作成

青少年の健全育成を目的とした啓発のぼり旗を作成し、市内の園・小中学校・高校・公民館などで掲げ、青少年健全推進運動を展開

活動内容

青少年育成稲敷市民会議ではこのような活動をしています。

映画会の開催

7月に青少年向けの映画を上映しています。幼児・小学生・中学生まで、多くの方々に来場いただいております。



ボランティア清掃活動

子ども会育成連合会と合同で清掃活動を行っています。令和5年度は、約200名の方が参加しました。



研修会等への参加

青少年に対する理解を深めることを目的とし、青少年の心理を理解した接し方や具体的な対応等の助言などを学ぶため、茨城県や近隣地域で開催される研修会等へ参加しています。

あいさつ運動の実施

年2回、学校と合同であいさつ運動を実施。子どもたちは明るく元気な声であいさつをしてくれるので、私たちも元気をもらっています。



主張大会の開催

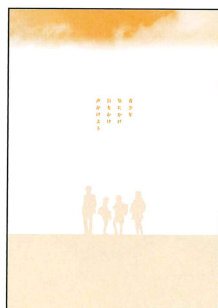
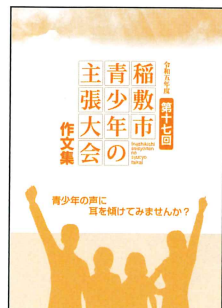
大会部を中心に、稲敷市青少年の主張大会を開催しています。青少年が考えていることを社会に主張することで、社会の一員としての役割を自覚すること、また、大人が青少年の理解と認識を深めることを目的としています。



第17回稲敷市青少年の主張大会
会場：江戸崎中央公民館
＊市内4小学校、中学校、
高等学校の代表者が主張発表

主張大会作文集の発行

稲敷市青少年の主張大会の作文集を作成し、市内各戸に回覧しています。最新の作文集を図書館・各公民館でご覧いただけます。



広報紙の発行

市民会議の活動内容を広く市民の方にお知らせするため、広報部を中心に広報紙「わかくさ」を発行し、市内全戸へ配布しています。



■会費につきましては、稲敷市民の皆様へ一世帯あたり300円の会費のご納入を任意でいただいております。皆様からいただきました会費・賛助会費は青少年健全育成事業に活用しています。

青少年育成稲敷市民会議
事務局：稲敷市教育委員会 生涯学習課
(江戸崎中央公民館内)

稲敷市江戸崎甲2148番地2
TEL 029(892)2000(代表)
FAX 029(892)3664